



株式会社福島民報社

主な活動場所：福島県内全域



主な取組①

SDGs 関連情報の発信・啓もう

福島民報社は、国連の「SDGメディア・コンパクト」に加盟し、報道や各種事業を通じて持続可能な社会づくりに取り組んでいます。

メディアの特性を生かし、「SDGs 福島から未来へ」の連載や県内の学校、行政、企業、団体のSDGs活動を積極的に取材し、情報発信しています。

また、人と人をつなぎ、情報を伝える地方紙の原点に立ち、新聞を教育や健康増進に生かす出前講座なども進め、SDGsを指針とした新たな社会活動の展開を目指しています。



【学校や団体の取り組みを伝える記事】【連載「SDGs 福島から未来へ」】



主な取組②

SDGs 関連イベントを開催



2022年9月24、25の両日、郡山市のビッグパレットふくしまで第1回目となる「ふくしまSDGs博」を開催し、今年度は2024年1月20、21日の2日間「ふくしまSDGs未来博」を開きます。行政、団体、学校、企業などの出展やステージイベントなどで楽しみながらSDGsを学ぶ機会を提供し、県民のSDGsへの取り組みの気運をさらに高めます。



【2022年「ふくしまSDGs博」を伝える記事】

会員と連携可能な強み

人と人をつなぎ、情報を伝える地方紙の原点に立ち「ふくしまSDGsプロジェクト推進コンソーシアム」を立ち上げました。誰一人取り残さず、いつまでも笑顔が広がる福島を共に育てて参ります。

〒960-8068 福島県福島市太田町13-17

【HP】 <https://www.minpo.jp/>

【TEL】 024-531-4161 (担当：成田)

【MAIL】 narita@fukushima-minpo.co.jp



主な取組③

他企業・団体との連携

福島民報社と福島放送 (KFB) は「ふくしまみんなのSDGs」連携協定を締結しました。古里が直面している問題に向き合い続ける地方紙と放送局が、SDGsの理念を取り入れて協力することで、持続可能な福島を目指します。

連携の一環として、9月29日から3日間、郡山市で開かれた「KFBまつり」に福島民報社がブース出展し、SDGsへの取り組みを来場者に呼び掛けました。



【「KFBまつり」の記事】



【「KFBまつり」の記事】

会員と連携して取り組みたい課題

1. 人が輝く福島 (人づくり)
2. 活力ある豊かな福島 (産業づくり)
3. 健やかで生きがいに満ちた福島 (健康づくり)
4. 助け合い共に歩む福島 (SDGs連携)

上記4本の柱で県民運動の輪を広げます。地域に軸足を置きながら、県人会などと連携し国外にも情報発信を行います。